



WINDOW



国際ふれあい広場2021を開催しました!

2022
Spring
No.76

- 当協会実施事業の紹介
 - 国際ふれあい広場2021 (国際交流員プレゼンツ!・ワールドツアーin高知家)
 - 新スタッフ紹介
 - 多文化共生講座&多文化共生出前講座
 - 復活! 外国語でおしゃべりセッション・土佐弁動画第3弾の紹介・やさしい日本語③
 - 友好姉妹都市学生等交流推進事業
- 高知県・韓国全羅南道 交流5周年の歩み・全羅南道からのメッセージ
- JICA海外協力隊による活動報告
- INFORMATION BOARD
 - 高知県国際交流員 着任挨拶
 - グローバルキャリアフェア in 高知
 - 高知で世界の味を!

「国際ふれあい広場2021」を開催しました



10月31日（日）@オーテピア高知図書館4階（ホール・研修室・集会室）にて、「国際ふれあい広場2021」を開催し、275名の方にご来場いただきました！

ホールでは、県内の国際関係団体10団体による展示・活動紹介・野菜やジャム販売などを行いました。

研修室では、「ワールドツアーin高知家（多文化共生講座）」を行い、南米（ブラジル・パラグアイ・アルゼンチン）、カメルーン、スリランカ、アメリカ、韓国、台湾、JICA海外協力隊OB、KIA学生ボランティア等、様々なバックグラウンドを持った高知とつながりのある方に講師としていただき、文化紹介やドリームツアー企画を発表してもらいました。



集会室では、「高知市・高知県の国際交流員（CIR）プレゼンツ！」として、おしゃべりセッション（英・中・韓）、トークセッション、ハロウィンのおはなし会～外国語でふれあおう～を行いました。

歌や踊り等のパフォーマンスはできませんでしたが、今年のテーマである「つながる・ひろがる・高知の・多文化共生」を感じられる機会になったのではないのでしょうか！

対面でのイベント開催は久々だったので、多くの方に来場いただき嬉しく思いました。

来年も、より良い交流イベントにできるように準備していきたいです！



トークセッション



令和元年「国際ふれあい広場」での開催から約2年の時間を経て、高知県・市に所属する国際交流員の共催による「トークセッション」は念願の復活を果たせました。

この「トークセッション」では、計6ヶ国出身の7人の交流員たちが、テーマに添って自分たちの国の事情を紹介しました。観客の方は興味津々に聞いてくださり、私たちも話し合いの中でお互いの国に対して新しい発見がたくさんありました。

（文：高知市国際交流員 孟 如慕）

おしゃべりセッション



国際ふれあい広場で、様々な言語でのおしゃべりセッションを開催しました。英語、中国語、韓国語それぞれで約8人ずつのグループを作り、選んだカードに書かれた内容をテーマに、好きな本や海外の経験などについて語り合いました。私が担当した英語グループの参加者たちからは、色んな視点から英語を吸収しようとする熱意を感じました。また来年も開催できたらいいですね！

（文：高知県国際交流員 テオ フィ イン ヴァレリー）

おはなし会



国際ふれあい広場2021で、はじめてオーテピア図書館とコラボした「おはなし会」のプログラムを実施しました。開催日はちょうどハロウィンなので、おはなし会のテーマもハロウィンです。

仮装して来てくれる子供たちとふれあい、歌を歌いながらゲームをしたり、パネルシアターをしたり、そして国際ふれあい広場の各ブースに行ってトリックオアトリートもしました。子供たちと楽しくおはなし会ができました。

（文：高知市国際交流員 アディ ケルタ ラハユ）

多文化共生講座ワールドツアー in 高知家 10/31

参加者:延べ42名

国際ふれあい広場での催しのひとつとして、多文化共生講座「ワールドツアー in 高知家」をJICA 四国と共に開催しました。これは高知にいながらいろんな国を体験しよう！という企画で、ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン、スリランカ、カメルーン、韓国、アメリカ、台湾出身の講師がそれぞれの国を紹介、JICA 海外協力隊OBがザンビア・ドミニカ共和国を、KIA 学生ボランティアはドリームツアーと題して高知や海外の見どころをまとめた発表をしました。参加者の皆さんは、15分ずつそれぞれの国をまわり、色々な文化を学んだり講師と交流したりと、短いながらも楽しい時間を過ごしました。南米からは、高知県海外技術研修の候補者3名が現地からライブで参加し、12時間の時差の中、様々な発表をしてくれました。参加者の皆さんからは、「普段はこんなに世界のことを知る機会がないのでとてもたのしかった」「各国の料理がとても魅力的だった」「旅をした気分になれた」「南米の高知県人会のことを知れてよかった」などの感想をいただきました。



南米からは3名がオンラインライブで講師として参加してくれました！



石元 ファビオさん (ブラジル)

オンラインのイベントはすごくよかったです。ブラジルの生活や高知県人会のこと、ブラジルの高知コミュニティについて知ってもらえるとてもいい機会でした。皆さんにもいい経験になったのではと思います。オンラインイベントは大成功でした！手伝ってくださったスタッフさんありがとうございました。

(KIA スタッフ翻訳)



平良 フェデリコさん
(アルゼンチン)

オンラインイベントはとてもたのしかったです。わたしのくにのなはは、文化と料理の話でした。とっても楽しかったと思います。

(文:平良 フェデリコさん)



黒原 アレハンドラさん
(パラグアイ)

私は故郷パラグアイを紹介しました。パラグアイは小さいですが、自然豊かな国です。プレゼンでは料理と自然についてお話ししました。外国の文化や習慣について知れるとてもよいイベントだと思います。初体験でしたが、参加できてとても嬉しかったです。

(KIA スタッフ翻訳)

新スタッフ紹介 岩井 亮子



はじめまして！令和3年10月からKIAのスタッフとなりました。海外生活の経験を活かし、国籍に関係なくお互いの文化や考え方を尊重できる社会作りに携わることができたらと思っています。KIAを通した今後の出会いを楽しみにしています！

多文化共生講座

韓国全羅南道特別編 ～季節を楽しむ花茶の世界～

コッチャ

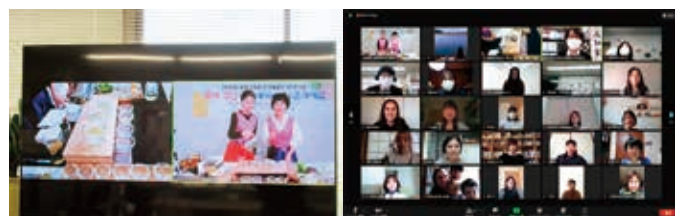
11月14日 参加者:24名



韓国全羅南道と高知県の姉妹交流協定締結5周年記念事業の一つとして、多文化共生講座 韓国全羅南道特別編をオンラインで行いました。講師に韓国の伝統的なお茶である花茶(以下、コッチャ)の名人、ソン ヒジャ先生をお迎えし、韓国全羅南道からZoomでコッチャ実演ライブ講座を行っていただきました。講座ではまず、高知県と韓国全羅南道の交流のきっかけとなった田内千鶴子さんについて学びました。さらに韓国全羅南道の紹介と全羅南道の知事メッセージの動画を視聴し、参加者からは、「全羅南道をよく知ることができた」「田内千鶴子さんのこともっと知りたい」といった感想をいただきました。

コッチャの実演のパートでは、歴史や楽しみ方、お茶を入れる際のコツなどを丁寧に教えていただきました。参加

者の皆さんには、事前に韓国から届いたコッチャセットをお届けしており、オンライン講座で先生と一緒に花茶を入れて楽しまれた方も沢山いました。実際にコッチャを入れた方からは、「お花の香りがとてもよくて癒されます」「甘くておいしいです」「お湯の中で開いた花がとてもきれいです」などの感想をいただきました。Zoomのチャット機能を使って沢山の質問もいただき、講師のソン ヒジャ先生がひとつひとつ丁寧に答えてくださいました。時間が足りないという声もたくさんいただくほどで、参加者のみなさんは韓国全羅南道や、食文化について楽しく学ぶことができたようでした。オンラインということで、遠くから参加できたことも好評でした。



多文化共生出前講座

11月10日 香美市大宮小学校

高知県国際交流員のアンさん(ベトナム出身)、ミンダさん(アメリカ出身)、エミさん(シンガポール出身)、県職員のイーホウさん(台湾出身)、KIA ボランティアのイ ホンナムさん(韓国出身)が講師となり、6年生39名を対象に来日の背景や活動内容、日本での暮らし、国境を越えた移動についての講義を行いました。先生方からは、グローバル化が進む現代社会において人々が国境を越えて移動し、交流していく意義や価値について児童が理解を深めるきっかけとなりました、という感想をいただきました。



多文化共生出前講座

11月13日 香南市野市東小学校

1年生51名を対象に、高知県国際交流員のエミさん(シンガポール出身)、アンさん(ベトナム出身)、高知市国際交流員のメンさん(中国出身)が講師となり、それぞれの国のこどもの遊びを紹介しました。児童の皆さんから、紹介された国に行ってみたい!日本との違いが分かったなどの感想をいただきました。



多文化共生出前講座

11月13日(出)～14日(日) 国立室戸青少年自然の家 イングリッシュキャンプ

小学生3～4年生 20名を対象にしたイングリッシュキャンプに、県内のALT5名を講師としてご紹介しました。キャンプでは名刺作りやフィールドフォトビンゴ、キャンプファイヤー、流木クラフトなど、1泊2日の行事を英語を使って過ごしました。参加した児童の皆さんは、徐々に英語を使ったコミュニケーションに慣れていき、2日目には積極的にALTに話しかけたり、英語の指示を理解し、行動できるようになりました。ALTの先生方はすきま時間にも子どもたちに英語で接してください、参加者からは英語での交流は楽しかった、また参加したいというたくさんの感想をいただきました。



復活

外国語でおしゃべりセッション 英 中 韓

コロナ禍でしばらく中止していた「外国語でおしゃべりセッション」が復活しました。

参加者同士の交流やテーマに沿ったフリートークを通して多文化共生への理解促進や、日頃接点の少ない方々が交流するための場として開催しました。

言語は、英語・中国語・韓国語の3言語でした。外国語やトピックを通して、みなさん楽しくおしゃべりしていました。来年度の開催もぜひお楽しみに～！



英語



中国語



韓国語

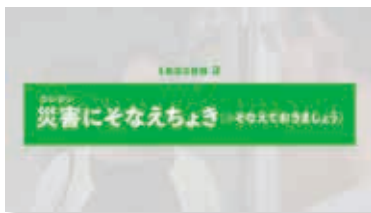


災害にそなえちよき

(=そなえておきましょう)

～Tosaben土佐弁動画第3弾～

高知県内の外国人住民のみなさんが安心して生活や仕事ができるよう、方言の“土佐弁”の解説など、役立ちそうな高知の情報を動画にまとめて配信しています。県内の日本語教室が教材として活用したり、外国人住民のみなさんが自分で学習できるよう、当協会(KIA)のYouTubeチャンネルへアップしています。今回は第3弾として、防災・災害情報と土佐弁をまとめた動画を公開中です。また、高知県・高知市の国際交流員さんに協力してもらい、翻訳機能を追加しました。全5言語(英・中・韓・ベトナム・インドネシア)です。ぜひご覧ください！



KIAのYouTubeチャンネルで土佐弁講座 大好評公開中!



▶ベトナム語翻訳(高知県CIRアンさん)



事業名: 令和3年度日本語講座開催事業 日本語学習動画
「日本語学習教材制作委員会」
高知県国際交流課(国際交流員を含む)
高知市総務課(国際交流員を含む)
南国市国際交流協会(土佐弁解説)
高知県国際交流協会

KIAのFacebook イベントや多言語情報発信!

くわしくは、QRコードで



▲インドネシア語(高知市CIRアユさん)・中国語(高知市CIRメンさん)翻訳

使ってみよう!
やさしい
日本語③

Point 3 難しい言葉は、簡単な言葉に言い換える。

例: 今朝 → 今朝の朝
停電中です → 電気を 使うことが できません
こちらに記入願います → この紙に 書いてください

災害用語や日常会話でよく使う言葉など、知っておくとよい言葉はそのまま使い、言葉のあとに説明を加えます。

例: 余震 → 余震(あとからくる地震)

Point 4 原則、方言は使わない。

外国人が日本語を勉強する時、標準語で勉強します。ですから、外国人にとって方言は難しいものだということを知っておきましょう。

ただ、高知で長く暮らしている外国人や仕事で方言を聞き慣れている外国人にとっては、使った方がいい場合もあります。相手の反応を見ながらいろいろ試してみましょう。

高知県・韓国全羅南道学生等交流推進事業

2021年10月から12月にかけて、全羅南道の和順高校の学生と県立窪川高校の学生がオンライン交流を行いました。交流会の第1回、2回は両校から1年生各5名が参加し、自身の学校や地域の紹介を通し異文化交流を体験しました。はじめは慣れないオンライン交流に緊張した様子でしたが、質疑応答や発表ではクイズを取り入れるなどして、学生同士が交流を楽しみました。3回目の交流会では、和順高校から1年生2年生、窪川高校から2年生が参加し、窪川高校の浜田先生による日本語の授業を一緒に受けました。日頃から日本語の授業がある和順高校の2年生は、浜田先生の日本語を聞き取ろうと真剣に授業を受けていました。授業後に、

和順高校の学生は、窪川高校の学生が発言をする時に立っている様子を見て驚いたと言っていました。全3回のオンライン交流会を通し、学生たちはお互いの文化や考え方により興味を持った様子で、コロナ禍での国際交流を体験しました。



高知県・全羅南道 交流5周年の歩み

高知県国際交流課 主事 小野川 真生

高知県と全羅南道との交流は、全羅南道木浦市で孤児3,000人を育て、「木浦の母」と慕われた田内千鶴子さんの記念碑がきっかけで始まりました。

2003年に「観光・文化交流協定」、2009年に「産業交流協定」、そして2016年に「姉妹交流協定」が締結されました。

2021年は、姉妹交流協定締結5周年にあたる節目の年ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で、全羅南道の皆様とともにお祝いすることはできませんでした。

それでも、オンラインでの交流など、現在の状況においてできることを行いました。

特に、全羅南道の和順高校と高知県の窪川高校の学生のオンライン青少年交流が印象的でした。コロナが収束した後の交流への第一歩を、学生さんたちが楽しんでいく様子にとっても勇気づけられました。

2022年以降はこのような交流を中心に、さらに高知県と全羅南道の友好関係が深まるよう、尽力し続けたいと思います。

全羅南道からのメッセージ

韓国全羅南道庁 朴 淳任(パク スニム)

私は韓国全羅南道庁で日本との交流に携わっている朴 淳任(パク スニム)と申します。交流が長い分、高知県の皆様とは仕事の相性がよく、いつも楽しく仕事をしておりますが、そのおかげでしょうか。去年、私たちが協力し実施したオンライン交流事業が韓国外交部主催の「韓国公共外交優秀事例の創意賞」に選ばれる嬉しいことがありました。

コロナ過で2年も高知県に行けない今、一番恋しいのは、ひろめ市場のその驚くほどの活気、そして おいしい土佐鶴一杯です！コロナが終わったら高知の皆様も 전라남도에 놀러오세요! (全羅南道に遊びに来てください。)



コッチャ名人に学ぶ南道文化体験



全羅南道一高知県知事会談通訳
(2019年3月 高知県庁にて。筆者右から2番目)

ラオスでのJICAボランティア活動について

— JICA海外協力隊2019年度2次隊

甲藤 瞳 (日本語教育)

2021年12月に、2年の任期を終えラオスから帰国しました甲藤瞳と申します。私は、ラオスで2番目の日本語学科(2017年開設)があるサワンナケート大学に赴任しておりました。

どんな活動をしていた?

設置後3~4年目の日本語学科で、同僚教員の教授力・日本語力向上や、カリキュラムの改善、学生の日本語力向上に取り組みました。その他、同僚教員と協働で卒論指導や教師研修を行いました。コロナ禍で9ヶ月ほど一時帰国をしていましたが、学生が自分のスマホを使ってオンライン授業に参加し続けてくれたおかげで、どこにいても何とか活動を継続することができました。

なぜJICA海外協力隊に?

実は、前職はラオス国立大学の日本語学科(2003年開設)の日本語教師でした。そこで2年働いている間に多くの協力隊員と出会い、みんなが生き生きとして楽しそうだったこと、専門も背景も多種多様な人と出逢えることに魅力を感じて協力隊を志望しました。派遣先として再びラオスを希望したのは、慣れた土地でこれまでの経験を還元したいと思ったからです。

コロナ禍での活動で大切にしていたことは?

「現地の人に寄り添う姿勢を持つこと」です。たとえコロナ禍で離れていても、できるだけ近くで、同じ目線で同じものを見たいと思っていました。先生と連絡するとき、急ぎだけど記録が残らなくてもいいときはボイス

メッセージ、すぐに相手の反応を知りたいときは通話、書類を確認しながら話したいときはビデオ通話などを使い分けるようにしていました(ラオス人の先生が使い分けて私に連絡をくれたので、それを真似しました)。オンライン授業のときは、早く入室してくれた学生に「〇〇さん、今日のサワンナケートの天気はどう?」と聞くようにしていました。ラオスでは、大雨だとネットの調子が悪くなり、途中で参加できなくなる学生が出てしまうためです。

現地で学んだことは?

「心にユーモアを持つこと」です。サワンナケートで出会ったラオス人は大らかで陽気な人が多く、いつも楽しそうでした。授業でも、学生のセンスが光る瞬間があります。「名詞+ほしいです」の授業で、「今、何でももらえます。何がほしいですか?」と聞くと、「携帯電話、バイク…」と学生たちが答えていく中で、「妻がほしいです。日本人の妻がほしいです」と最後に答えて笑いを取った学生がいました。周りを楽しませる姿勢、今いる場を明るくしようとする姿勢はラオスを離れた今も大切にしています。

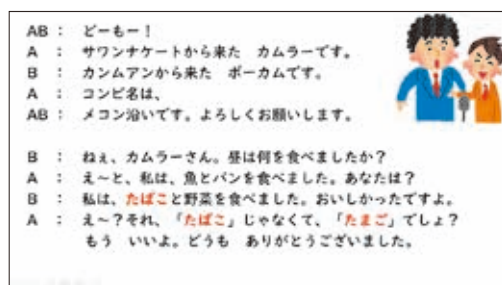
この寄稿はラオスでの活動のほんの一部ではありますが、少しでもラオスで日本語教育に関わる先生や学生たちを身近に感じていただけたら嬉しいです。最後までご覧くださりありがとうございます!



できるだけ近くで
(ラオス人の先生は3名。寄稿者、左から2番目)



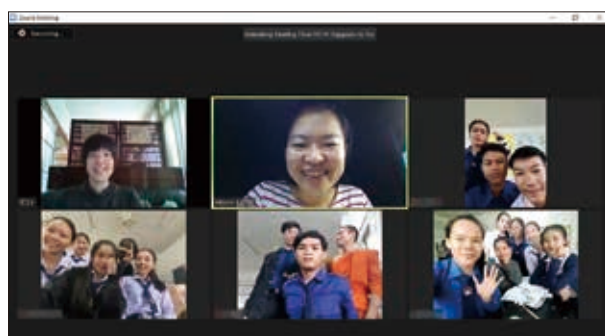
できるだけ同じ目線で
(3期生19名と。学生は4学年で88名)



吉本興業のフランボネさんを招いて
「漫才で覚える日本語」をしたときの学生のネタ



1期生の卒論中間発表後の集合写真(本当は1期生20名なのですが、先に帰ってしまった学生も…笑)



オンラインのおかげで、色々なゲスト(写真 左上)に参加してもらいました!

着任挨拶

高知県国際交流員

ホアン トゥー アン (ベトナム)

初めまして！ベトナム出身のアンと申します。高知県初のベトナム国際交流員として着任いたしました。以前1年間大阪大学に留学したことがあり、その1年間で培った広い視野が当時の自分を飛躍的に成長させてくれたので、帰国後も「日本に戻りたい」、「国際的な場で活躍したい」と思って国際交流員に応募いたしました。これから高知県とベトナムの友好関係の構築に努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



着任挨拶

高知県国際交流員 イ ラン (韓国)

はじめまして！新しく10月から高知県の国際交流員として着任いたしました、イランと申します。私は、韓国ソウル出身で、高知に来たのは今回で2回目です。以前は、大学3年生の時、交換留学生として高知大学で勉強をしたことがあります。日本語の勉強は中学2年の時、アニメをきっかけに始めるようになりました。大学と大学院では日本語と日韓通訳・翻訳を勉強しました。趣味はテーマを決めた旅行です。コロナが終息すれば、高知のいろんなところを旅し、皆様にお会いしたいと思います。よろしく願っています。



「グローバルキャリアフェアin高知」を開催しました (外国人と企業の交流会)

高知県国際交流課 課長補佐 吉良 葉子

令和3年11月3日(水・祝)に、「グローバルキャリアフェアin高知」が開催されました。主な参加者は県内のJETプログラム参加者や留学生で、高知県での就職に興味がある約40人の方々が、県内の9企業と日本語で交流しました。

これまでもJETプログラム参加者などから、「高知に残って就職したい」「でも、どうやって就職先を見つけたら良いのかわからない」という声を聞いており、また企業側からも「海外事業の即戦力となる人材を雇用したい」という声があったことから、本県で初めて開催したものです。

企業側からは「参加者の日本語レベルが高くて驚いた」「採用候補者と出会うことができた」、外国人参加者からは「高知で就職を考える上で、とても役に立った」「今後、実際に

企業に見学を申し込みたい」といった感想をいただきました。

高知で活躍する外国人の方がもっと増えるように、このイベントは今後も続けていきたいと考えています。



セミナーの様子



交流会の様子



高知で世界の味を! ベトナム編

ベトナムで日本語教師をしている、グエン ビッチ ツーさんが、日本の材料でできるベトナム風春巻きの作りかたを教えてくださいました。ツーさんは令和3年10月まで、仁淀川町で働いていました。ダイエットに気がついたさっぱり味の春巻きです。

春巻きの作り方

材料 (4人前)

- ライスペーパー … 1袋
- 豚肉 … 400g
- 厚揚げ … 2個
- そうめん … 1袋
- グリーンリーフ … 10枚
- 大葉 … 20枚
- 胡瓜 … 4本
- ナンプラー … 大さじ2
- にんにく … 1/8個
- とうがらし … 1個
- 砂糖 … 小さじ3
- レモン汁 … 小さじ1

作り方

1. ベトナムのソースを作る。
▶ 容器にニンニクととうがらしを入れる。砂糖を入れる。よくつぶしてから、レモン汁を小さじ1入れる。砂糖が溶けるようによくかき混ぜる。お口に合うようにナンプラーを少しずつ入れる。
2. 豚肉をゆでて、小さく刻む。
3. 厚揚げを長く切る。
4. そうめんをゆでて、水を切る。
5. 野菜を洗って、そのまま食べる。胡瓜を長く薄く切る。

食べ方

1. ライスペーパーを柔らかくさせるように水をつける。
2. 柔らかくなったライスペーパーに野菜、そうめん、肉、豆腐など好きなものに乗せて巻く。
3. ソースにつけて食べる。

ナンプラーは匂いがきついので、苦手な方は日本のしょうゆなどで作ってもいいと思います。

巻いてから食べるのもおいしいと思いますが、巻きながら食べるほうがおすすめです。

日本文化が大好きなツーさん。着物も自分で着ます。



仁淀川町にいた時もみんなでワイワイ、好きな具を巻きながら春巻きを食べました!



しそやレモンでさっぱり味のソースにナンプラーが効いています。



春巻きは色々なものが入っていて栄養も十分です。

入れる材料は肉の代わりに、焼くか蒸した魚や海老なども美味しいです。好きな野菜を自由に入れてください。野菜がたっぷりなので体によくて、ダイエットしている方にも効果的です。

ソースが一番大切なので、お口に合うものを作ってください。さっぱりで作り方も簡単なのでぜひ試してください。

